

水生生物による水質調査を行いました

平成23年7月27日、最上川の睦橋上流右岸（白鷹町）にて、長井市立長井北中学校科学部の皆さんとともに水生生物による水質の簡易調査を実施しました。

この調査は、国土交通省が川と親しみながら河川愛護、水質保全等への関心を高めてもらう事を目的として行っているものです。

水生生物による水質調査は、わかりやすく、川で楽しく親しみながら水質の状態を調べることができるので、生徒の皆さんの協力により各地で調査が行われています。



水質検査



●水質パケットテスト●

薬品が入っているチューブに川から汲んだ水を入れ反応を標準色と比較する事でpH値などを調べることができます。



●透視度計●

上からのぞきながら底がはっきり見えるところまで少しずつ水を抜いていきます。結果は70cm。Bランクでした。（4階級判定できれいなほうから2番目）

水生生物調査

川の流れの影響を受けにくい川底に住んでいる水生生物はその地点の水質の状況を反映しています。

そのため、川底の生物の種類や多さを調べることで、川の水質の状態がわかります。



川底にいる生物を捕まえます。石の下や泥の中なども注意深く探します。



捕まえた生物を白いバットに移し水質の指標生物がいるか確認します。今回はきれいな水にすむヘビトンボが見つかりました。